

## 令和6年度 第4回 静岡県立浜北西高等学校 学校運営協議会 議事録

1 日時 令和7年2月5日(水) 午後2時から3時30分まで

2 場所 静岡県立浜北西高等学校 会議室 ほか

3 出席者(委員、敬称略)

梅林欽哉(元小学校・中学校管理職)、阿部卓也(静岡県議会議員)、  
金島徹(浜名区調整官)、森下晃行(農業起業家/TATSUJIN株式会社)、  
松本幸範(浜北国際交流協会副会長)

学校関係者

邑田聡一(校長)、小室桜子(副校長)、伊藤正徳(教頭)、中村明江(事務長)、

4 議事

第一部 探究発表会 見学

第二部 意見交換

(1) 校長挨拶

(2) 令和6年度学校関係者評価に関する意見交換

(3) 意見交換

ア 探究発表会の良かった点

- ・2025年2月5日の今日は、ニコニコの日だったので、意識して笑顔で回った。生徒達もニコニコと大変良い表情であった。
- ・まとめ方が簡潔で分かりやすく、昨年と比べて良くなっていた。
- ・踊り付きで紹介していたグループがあった。テーマがジェンダーだったので、「ジェンダーについて家や学校で話題にすることはある？」と尋ねところ、「ない」との返事。生徒達は先生や大人達ともっと話したがついていると感じた。
- ・色々な質問を投げかけたが、きちんと受け答えができ、自分の考えを述べる事ができていた。
- ・生徒達が課題としてあげたものは、例えば、保育士の給料が上がらないなど、自分達ではどうしても解決できないこと、社会構造的な問題が非常に大きいものが多かった。そのため、ある程度までまとめて課題を出すことはできるが、そこからブレイクスルーすることが難しいと感じた。しかし、閉会式の森下さんの講評にあったように、たとえ解決しなくても「考え続けることが大事」と共感した。
- ・10月の探究の日に自分が話した内容が模造紙に書かれており、こちらの発言を理解してくれたのだと、うれしく思った。
- ・外国に対する抵抗感がなくなり、より身近にオープンになってきていることを感じた。

## イ 探究発表会の改善点

- ・発表を動画として記録を残すとよい。生徒達の思い出にもなるし、声の大きさや分かりやすい表現の仕方など、あとで反省や分析ができる。
- ・ロータリークラブはラーニングセンターをもっており、膨大な情報量をもっている。また、ゲーム感覚で学べて、記録に残る。ぜひ参考にして欲しい。
- ・動画の保存も、ズームを使えば、URLが残るので、後で見るときに楽である。今は、カラオケでもアイドルとつながれる。探究発表会も学校に来なくても見ることができる体制を整備するとよい。
- ・発表データを積み重ねてデータバンクを作れば、我々大人も勉強できる。
- ・動画をホームページから見られるようにすれば、子ども達の励みになる。
- ・発表がたくさんあって目移りした。もっと見られる時間があるとよい。
- ・教育系、国際系などテーマをある程度まとめて教室配置をすれば、見学者は興味ある分野を回りやすいかもしれないが、偏りが生じる可能性もある。
- ・同じ教室で4グループの発表が同時に行われるため、声の大きいグループが他にあると、目の前であるのに、発表が聞き取りにくいことがあった。
- ・回るタイミングが悪かったのか、すべて発表の途中から聞くことになってしまい、最初から見れたのが一つもなかったのが残念。
- ・発表時間を全体で決めて行うやり方もある。
- ・食の安全をテーマにしていたグループに、輸入野菜は本当に安全か、また輸入野菜の安さとリスクについて投げかけてみたが、うまく答えられなかった。自分達のテーマはもう少し深堀りできるとなおい。

## ウ 学校運営協議会（コミュニティスクール）のあり方

- ・今年始めて委員をやってみて、的外れの発言をしてしまうことがあった。こちらも勉強しないといけないと感じた。
- ・地元ふるさとを知ることは、簡単なようで難しい。自分の住んでいるところは田舎で、バスがない、店もない、子どもも少ないといった“ないない尽くし”の意見が多いが、意外なところでいい発見がある。生徒達が学ぶと同時に、コミュニティスクールに関わっている我々も学ぶことが必要だ。
- ・以前の学校評議員会だった時は、意見をいって終わりだったが、学校運営協議会になってからは、探究にも関わるようになって参画する機会が増えた。生徒達に還元できることは何かないか、もっとないか、と常に考えている。
- ・令和6年度はコロナ明けで完全にリスタートした一年で、よいスタートを切れた。今後大変になるのは、教育の形が変わってきたこと。中学校の部活動がなくなると高校の部活動はどうなるのか、多様な入試方法が出てきているがどう対応していくか、DXをどう取り入れていくか、などの課題に取り組まなければいけない。こうした学校経営のグランドデザイン（設計図）を校長先生中心に描かれる際、我々学校運営協議会の委員をはじめ、PTA・後援会・同窓会も積極的に手伝っていきたい。